

CSRレポート2011 詳細データ編

■本「CSRレポート2011 詳細データ編」の編集方針

トッパンのCSRレポート冊子に掲載されていない、詳細なデータを開示しています。

冊子版は、社会的責任に関する規格であるISO26000の定める「7つの中核主題」に沿った編集をしており、本「詳細データ編」でも、大項目の名称は中核主題を使用しています。

■報告対象範囲

「労働慣行」のデータは、凸版印刷(株)単体です。「環境」に関するデータの対象範囲は、下記の保証対象指標の表に記載しています。

■信頼性への配慮

冊子版を含めKPMGあずさサステナビリティ(株)による第三者保証を受けています。本「詳細データ編」における環境パフォーマンスデータの保証対象指標は以下の通りです。

環境パフォーマンスデータの保証対象指標および集計範囲

①凸版印刷株式会社	1社
②環境目標の対象とする国内製造子会社	20社
③環境目標の対象としない国内子会社	19社
④海外子会社	29社

ページ	カテゴリ	データ	保証対象指標	社数	範囲	
P2-3	トッパンの環境負荷	国内事業所(環境目標対象) 事業領域別INPUT/OUTPUTデータ	○	21	①・②	
		国内事業所(環境目標非対象) 事業領域別INPUT/OUTPUTデータ	○	19	③	
		海外事業所(環境目標非対象) 事業領域別INPUT/OUTPUTデータ	○	29	④	
P4	環境マネジメント活動	凸版印刷(株)および製造子会社(環境目標対象) ISO14001認証取得実績	-	21	①・②	
		国内子会社(環境目標非対象) ISO14001認証取得実績	-	19	③	
		海外子会社(海外現地法人) ISO14001認証取得実績	-	29	④	
P5	エコガイド活動	地球温暖化防止の取り組み	省エネルギー施策の展開による地球温暖化防止	-	21	①・②
			エネルギー種類別割合(全熱量換算)	○	21	①・②
			電力消費量の推移	○	21	①・②
			都市ガス消費量の推移	○	21	①・②
			自社車両の燃費効率推移	○	1	凸版物流(株)
P6	エコガイド活動	循環型社会形成の取り組み	廃棄物削減とリサイクルの推進	-	21	①・②
			ゼロエミッション認定事業所(TZERO-10)	-	21	①・②
P7	エコガイド活動	汚染予防の取り組み・化学物質の管理状況	PRTR調査集計結果	○	21	①・②
			温室効果ガス種類別比率(CO ₂ 換算での比率)	○	21	①・②
			温室効果ガス排出源別比率(CO ₂ 換算での比率)	○	21	①・②
P8	エコガイド活動	環境配慮型製品一覧	[ECO-GREEN]購入量の推移 ^{*1}	○	21	①・②
			環境配慮型製品一覧	-	21	①・②
P9	環境会計	環境保全設備投資額	○	66	-	
		環境保全効果	○	69	①~④	
	グリーン調達・グリーン購入	グリーン調達 日印産連グリーン基準 紙	○	調達先15	-	
		グリーン調達 日印産連グリーン基準 インキ	○	調達先4	-	
		グリーン購入社内基準と達成率 ^{*1}	○	21	①・②	

※1 データ集計上重要な拠点を対象として集計。

発行責任部署および連絡先

凸版印刷株式会社 法務本部 CSR推進室

TEL03-3835-5535 FAX 03-3835-1447 E-mail : csr@toppan.co.jp

労働慣行

人財育成に関する実績

	社員一人当たりの研修等費用	トップ研修センター利用率 ^{※1}
2008年度	35,325円	59.2%
2009年度	41,789円	68.8%
2010年度	35,471円	78.4%

※1 利用可能日数に対しての利用実績日数から算出(子会社・関連会社の利用含む)。

新入社員の定着状況(入社3年目社員の定着率)

	男性	女性
2008年4月1日入社	430	127
2011年4月1日在籍者	380	114
定着率	88%	90%
男女平均	89%	
離職率	11%	

環境

■ トップの環境負荷^{※2}

国内事業所(環境目標対象)事業領域別INPUT/OUTPUTデータ

項目	主な内容	備電・ネットワーク系	生活環境系	エレクトロニクス系	非生産事業所系	合計
原材料	総投入量(t)	853,977	551,988	44,467	-	1,450,432
	紙類(t)	833,332	343,269	405	-	1,177,006
	プラスチック(t)	2,456	141,297	3,406	-	147,159
	ガラス(t)	1	1	12,131	-	12,133
	インキ・溶剤(t)	16,045	59,753	3,122	-	78,920
	その他(t)	2,143	7,668	25,403	-	35,214
エネルギー	総エネルギー使用量(千GJ)	4,285	5,371	6,241	692	16,589
	直接エネルギー(燃料)(千GJ)	1,514	1,508	847	102	3,971
	間接エネルギー(電気・蒸気)(千GJ)	2,771	3,863	5,394	590	12,618
水	水使用量(千m ³)	1,122	1,876	10,479	347	13,824
	工業用水(千m ³)	439	508	244	0	1,191
	上水道(千m ³)	459	551	56	335	1,401
	地下水(千m ³)	221	817	10,179	0	11,217
	雨水(千m ³)	3	0	0	12	15
循環利用量(千m ³)	0	13	4,814	0	4,827	
化学物質	PRTR対象化学物質取扱量(t)	1,289	2,680	4,709	3	8,681
大気	二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	184,556	255,675	254,010	27,949	722,190
	オゾン層破壊物質排出量(ODP-kg)	12	67	0	0	79
	窒素酸化物(NOx)排出量(kg)	42,019	77,248	21,797	2,321	143,385
	硫酸酸化物(SOx)排出量(kg)	19	17,592	13,115	0	30,726
	ダイオキシン類排出量(mg-TEQ)	4	76	0	0	80
	PRTR対象化学物質排出量(t)	64	321	12	1	398
土壌・水域	総排出量(千m ³)	718	1,342	9,986	279	12,325
	公共用水域排水量(千m ³)	9	849	9,386	0	10,244
	下水道排水量(千m ³)	706	484	600	279	2,069
	地下浸透量(千m ³)	3	9	0	0	12
	場内揮発量(千m ³)	396	407	363	45	1,211
	BOD負荷量(kg)	30	2,979	48,013	0	51,022
	COD負荷量(kg)	0	1,761	14,157	0	15,918
	窒素排出量(kg)	0	10,492	17,852	0	28,344
	炭排出量(kg)	0	1,339	736	0	2,075
PRTR対象化学物質排出量(kg)	0	51	503	0	554	
廃棄物	廃棄物総排出量(t)	143,386	100,156	32,475	1,828	277,845
	リサイクル量(t)	142,909	99,197	32,209	1,518	275,833
	最終埋立量(t)	60	534	28	21	643

※2 燃料使用に伴うエネルギーの使用量は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の平成12年度改正時点の係数を使用して算出。電気使用に伴うエネルギー使用量は一律0.00983GJ/kWhで算出。二酸化炭素排出量は環境省の「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(平成15年)」に基づき算出。電気使用に伴う二酸化炭素排出量は、一律0.378t-CO₂/千kWhで算出。ただし、海外事業所の電気使用に伴う二酸化炭素排出量はGHGプロトコルが公表する各国の2000年度CO₂排出係数に基づき算出。

国内事業所(環境目標非対象)事業領域別INPUT/OUTPUTデータ

項目	主な内容	情報・ネットワーク系	生活環境系	エレクトロニクス系	非生産事業所系	合計	
-I- -C- -P- -C-	エネルギー	総エネルギー使用量(千GJ)	2,417	763	533	22	3,735
		直接エネルギー(燃料)(千GJ)	246	93	76	0	415
		間接エネルギー(電気・蒸気)(千GJ)	2,171	670	457	22	3,320
	水	水使用量(千m ³)	1,516	92	1,032	4	2,644
		工業用水(千m ³)	37	0	0	0	37
		上水道(千m ³)	287	92	23	4	406
		地下水(千m ³)	1,178	0	1,009	0	2,187
		雨水(千m ³)	14	0	0	0	14
		循環利用量(千m ³)	0	0	24	0	24
化学物質	PRTR対象化学物質取扱量(t)	7	76	131	0	214	
-C- -P- -C-	大気	二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	97,146	30,593	22,769	865	151,373
		オゾン層破壊物質排出量(ODP-kg)	0	5	0	0	5
		窒素酸化物(NOx)排出量(kg)	13,138	3,864	3,171	8	20,181
		硫酸酸化物(SOx)排出量(kg)	10	1	2,549	0	2,560
		ダイオキシン類排出量(mg-TEQ)	0	0	0	0	0
		PRTR対象化学物質排出量(t)	0	6	0	0	6
	土壌・水域	総排出量(千m ³)	1,403	56	865	4	2,328
		公共用水域排水量(千m ³)	1,178	36	853	0	2,067
		下水道排水量(千m ³)	222	20	12	4	258
		地下浸透量(千m ³)	3	0	0	0	3
場内揮発量(千m ³)		103	36	167	0	306	
BOD負荷量(kg)		803	167	4,775	0	5,745	
COD負荷量(kg)		3,081	0	0	0	3,081	
窒素排出量(kg)		379	0	0	0	379	
廃棄物	廃棄物総排出量(t)	66,154	11,112	7,215	245	84,726	
	リサイクル量(t)	63,870	10,940	1,704	245	76,759	
	最終埋立量(t)	75	15	0	0	90	

海外事業所(環境目標非対象)事業領域別INPUT/OUTPUTデータ

項目	主な内容	情報・ネットワーク系	生活環境系	エレクトロニクス系	非生産事業所系	合計	
-I- -C- -P- -C-	エネルギー	総エネルギー使用量(千GJ)	1,400	688	4,086	-	6,174
		直接エネルギー(燃料)(千GJ)	197	278	114	-	589
		間接エネルギー(電気・蒸気)(千GJ)	1,203	410	3,972	-	5,585
	水	水使用量(千m ³)	1,357	134	2,120	-	3,611
		工業用水(千m ³)	-	-	-	-	0
		上水道(千m ³)	1,220	85	2,050	-	3,355
		地下水(千m ³)	137	49	70	-	256
		雨水(千m ³)	0	0	0	-	0
		循環利用量(千m ³)	0	0	0	-	0
化学物質	PRTR対象化学物質取扱量(t)	-	-	-	-	-	
-C- -P- -C-	大気	二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	101,516	41,681	269,051	-	412,248
		オゾン層破壊物質排出量(ODP-kg)	23	0	50	-	73
		窒素酸化物(NOx)排出量(kg)	6,644	9,728	1,915	-	18,287
		硫酸酸化物(SOx)排出量(kg)	120	315	29	-	464
		ダイオキシン類排出量(mg-TEQ)	0	0	0	-	0
		PRTR対象化学物質排出量(t)	-	-	-	-	-
	土壌・水域	総排出量(千m ³)	1,229	111	1,808	-	3,148
		公共用水域排水量(千m ³)	25	2	150	-	177
		下水道排水量(千m ³)	1,204	64	1,658	-	2,926
		地下浸透量(千m ³)	0	45	0	-	45
場内揮発量(千m ³)		70	17	311	-	398	
BOD負荷量(kg)		186	0	250	-	436	
COD負荷量(kg)		649	0	1,202	-	1,851	
窒素排出量(kg)		156	0	0	-	156	
廃棄物	廃棄物総排出量(t)	59,206	11,679	7,570	-	78,455	
	リサイクル量(t)	57,277	9,041	6,398	-	72,716	
	最終埋立量(t)	1,867	2,396	399	-	4,662	

環境マネジメント活動

ISO14001認証取得実績 (2011年3月31日現在 114事業所78システム)

■凸版印刷(株)および製造子会社(環境目標対象) ISO14001認証取得実績

事業(本)部/事業所	認証機関	登録年月
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 滋賀工場	JQA	1998. 7
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 熊本工場	JQA	1998.11
(株)トッパン・コスモ[(株)トッパン建装プロダクツ 柏工場、幸手工場]	JQA	2000. 3
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 新潟工場およびトッパンNECサーキットソリューションズ 新潟工場	JQA	2000. 4
(株)トッパンNECサーキットソリューションズ 富山工場[第3製造課、検査課含む]	JQA	2000. 8
坂戸サイト	JQA	2000.10
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 嵐山工場	JQA	2000.11
生活環境事業本部[秋葉原オフィス]	JQA	2001. 3
情報コミュニケーション事業本部板橋サイト[凸版情報加工(株)を含む]	JQA	2002. 2
(株)トッパンパッケージジプロダクツ福岡工場[トッパンプラスチック(株)和歌山工場、トッパンパックス(株)を含む]	JQA	2002. 7
トッパングループ川口サイト	JQA	2002. 8
滝野工場群[情報コミュニケーション事業本部、生活環境事業本部]	JQA	2002.10
(株)トッパンパッケージジプロダクツ 群馬工場	JQA	2003. 7
凸版印刷(株) 朝霞工場	JQA	2003.12
(株)トッパンプロスプリント 水戸工場	JSA	2004. 1
トッパンコンテナー(株)[埼玉工場、宮城工場、佐野工場]	JQA	2004. 4
(株)トッパン・エレクトロニクス富士	JQA	2004. 6
中四国事業部 広島オフィス、凸版情報加工(株) 福山工場	SAI GLOBAL	2004.10
関西事業本部	JQA	2004.11
東日本事業部	JQA	2005. 3
(株)トッパンプロスプリント 江東工場	JQA	2005. 3
総合研究所	JQA	2005. 5
北海道事業部[札幌工場、千歳工場]	JSA	2005. 6
エレクトロニクス事業本部 三重サイト	JQA	2006. 1
トッパンプラスチック(株)[越谷工場、川口工場、相模原工場]	SAI GLOBAL	2006.12
(株)トッパンパッケージジサービス[嵐山工場、九州工場]	JQA	2007. 2
(株)トッパンパッケージジプロダクツ 相模原工場	SAI GLOBAL	2007. 3
トッパンプラスチック(株) 佐賀工場	SAI GLOBAL	2007.11
(株)トッパンパッケージジプロダクツ 福岡工場	SAI GLOBAL	2008.10
(株)トッパンテクノ[本社、関西支店、厚木事業所]	SAI GLOBAL	2009. 3
(株)トッパンパッケージジサービス 袖ヶ浦ピバレッジ工場	SAI GLOBAL	2009. 4
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 福岡工場	SAI GLOBAL	2009.10
生活環境事業本部 高機能部材事業部 深谷工場[幸手サイトを含む]	JQA	2010. 3
凸版印刷(株) 中部事業部 名古屋工場	JQA	2010.12
トッパンパックス(株) 三ヶ日事業所	SAI GLOBAL	2010.11
グリーンフロント堺 凸版印刷(株)	BUREAU VERITAS	2011. 3

■国内子会社(環境目標非対象) ISO14001認証取得実績

グループ会社/事業所	認証機関	登録年月
(株)オルタステクノロジー	JQA	2000.10
(株)トータルメディア開発研究所	JSA	2001. 3
トッパン・フォームズ(株) 日野工場	JQA	2001. 6
(株)リーブルテック[本社及び工場 埼玉工場]	JCQA	2001. 7
(株)トッパンTDKレーベル [福島工場、滝野工場]	JQA	2001.11
凸版物流(株) 西が丘事業所[川口運送部門含む]	JQA	2002.10
図書印刷(株)クリエイティブ・センター、図書パインダリー(株)、図書製本(株)を含む]	JQA	2003. 5
トッパン・フォームズ(株) 福生工場	JQA	2004. 2
トッパン・フォームズ(株) 開発研究所	JQA	2004. 3
トッパン・フォームズ東海(株)[浜松工場、メディア工場、静岡工場、名古屋工場]	JQA	2004. 8
トッパン・フォームズ西日本(株) 九州工場	JQA	2005. 1
(株)トッパンTDKレーベル[相模原工場、北工場、西工場、西倉庫]	JCQA	2005. 1
関西図書印刷(本社、製版センター、神戸工場、京都工場)	JQA	2005. 6
(株)トッパンメディアプリンテック東京 日野工場	JSA	2005.11
トッパン・フォームズ(株) 川本工場	JQA	2006. 8
トッパン・フォームズ関西(株)[江坂センター、大阪工場、摂津工場、神戸工場、茨木物流センター、(株)KCF神戸事業所]	JQA	2007. 4
(株)オルタステクノロジー高知	JQA	2008. 2
(株)トッパンメディアプリンテック東京 座間工場	JACO	2009. 9
山陽トッパン・フォームズ(株)[山陰センター含む]	JQA	2009.10
タマポリ(株) 群馬工場	JQA	2011.2

■海外子会社(海外現地法人) ISO14001認証取得実績

グループ会社	認証機関	登録年月
Toppan Photomasks France S.A.S.	LRQA	2000.10
Toppan Photomasks, Inc. [Santa Clara, Round Rock]	LRQA	2001.11
Siam Toppan Packaging Co.,Ltd.	MASCI	2002. 4
Toppan Printing Co.,(H.K.) Ltd.	DNV	2002. 5
Toppan Printing Co.(America), Inc.	DNV	2002.12
中華凸版電子股份有限公司	SGS	2003.10
Toppan Printing Co., (Shenzhen)Ltd.	SSCC	2003.12
Toppan Photomasks Germany GmbH	LRQA	2004.10.
台湾凸版国際彩光股份有限公司	SGS	2004.11
P.T.Toppan Printing Indonesia	LRQA	2004.11
Toppan Photomasks Co., Ltd. Shanghai , Toppan Photomasks Korea Limited	LRQA	2005. 2
Toppan Printing Co.,(Shanghai)Ltd.	CEC	2006. 2
凸版中芯彩晶電子(上海)有限公司	BSI	2007. 2
Toppan Leefung Printing (Shanghai) Co., Ltd.	CCCI	2007. 4
Toppan Yau Yue Paper Products (Shenzhen) Co., Ltd.	SGS	2007.11
上海凸版印刷有限公司	NQA	2008. 7
Toppan Yau Yue Paper Products (Dongguan) Co., Ltd.	MIC	2009. 1
Toppan Leefung Printing Limited Toppan Leefung Packaging & Printing (Dongguan) Co., Ltd	CNAS	2009. 3
Toppan Excel Printing(Guangzhou) Co., Ltd	CTC	2009.5
北京日邦印刷有限公司	SGS	2009. 9
Toppan Leefung Changcheng Printing (Beijing) Co., Ltd	ZDHY	2009.11
Toppan Security Printing Pte Ltd	TUV	2010.8

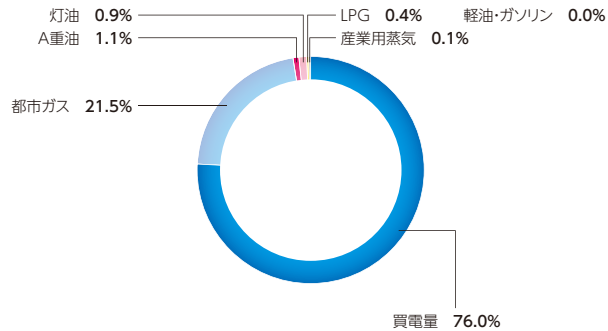
(注)会社名は、登録証の記載にあわせています。

地球温暖化防止の取り組み

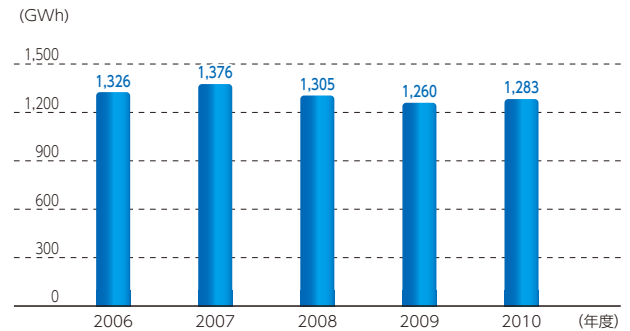
省エネルギー施策の展開による地球温暖化防止

	2010年度主要施策	削減実績(t-CO ₂ /年)	2011年度主要計画	削減実績(t-CO ₂ /年)
情報・ネットワーク系	川口：貫流ボイラーの更新 関西：ボイラー容量の最適化	△1,280	板橋：ポンプのインバータ制御の導入 滝野証券：ボイラー更新による燃料転換	△1,450
生活環境系	群馬：冷凍機の更新 幸手：コンプレッサーの更新	△2,324	群馬：コンプレッサーの空気漏れ箇所の修理 TKP幸手：空調設備の運転制御システムの導入	△1,961
エレクトロニクス系	熊本：冷凍機の更新 TNCSI富山：コンプレッサーの定期的な保守および点検	△7,061	新潟：ポンプの台数制御による運転管理 堺：クリーンルームの外調機(OAC-101)負荷削減	△5,136
非生産事業所系	総研：ターボ冷凍機の更新	△75	総研：クリーンルームの非操作時間の低風量運転の実施	△58
全社	-	△10,740	-	△8,605

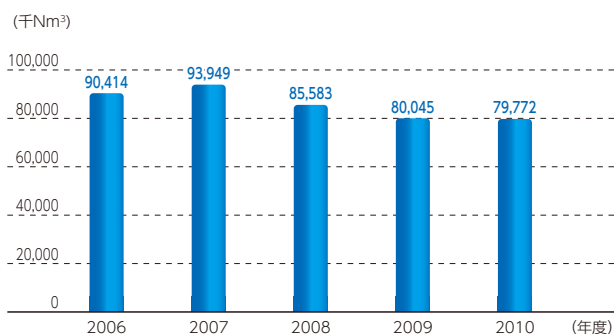
エネルギー種類別割合(全熱量換算)



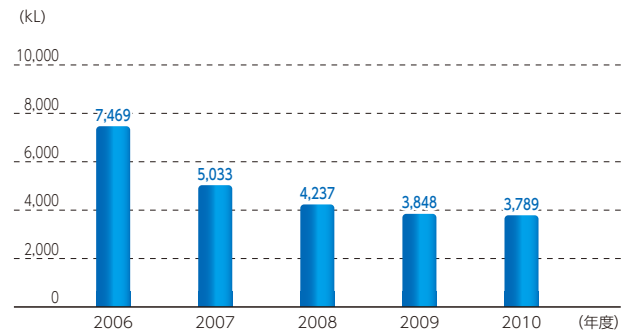
電力消費量の推移



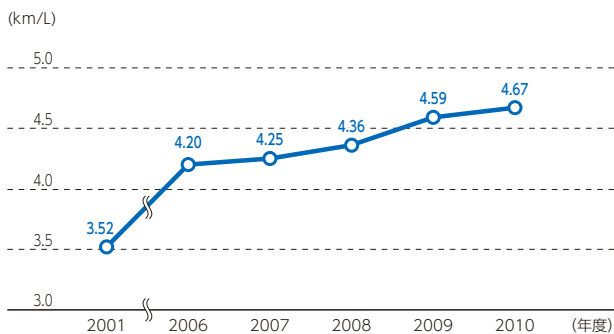
都市ガス消費量の推移



灯油消費量の推移



自社車両の燃費効率推移



循環型社会形成の取り組み

廃棄物削減とリサイクルの推進

	2010年度主要施策	削減実績(t/年)	2011年度主要計画	削減実績(t/年)
情報・ネットワーク系	仙台：浄化槽清掃管理方法の見直し 川口：現像機の水洗水量低減	△602	川口：廃インキ削減 坂戸：油水分離機による廃油水の処理	△20
生活環境系	群馬：焼却灰、廃油削減 千歳：廃油発生量削減	△561	群馬：焼却炉焼却効率改善による灰減量化 コンテナ埼玉：廃パレット、廃インキ缶の削減	△650
エレクトロニクス系	滋賀：廃液の社内処理 三重：排水処理工程改善	△2,173	滋賀：廃液の社内処理 熊本：排水処理脱水汚泥の削減	△640
非生産事業所系	一般廃棄物の削減	△100	一般廃棄物の削減	△100
全社	-	△3,436	-	△1,410

(注) 廃棄物排出量生産額原単位の改善、マテリアルリサイクル率の改善、廃棄物最終埋立量の削減、ゼロエミッション認定事業所の拡大の施策含む。

ゼロエミッション認定事業所(TZERO-10) (2010年8月認定、51事業所)

事業所名	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)
凸版印刷(株) 総合研究所	341.3	341.3	100.00%
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 朝霞証券工場	4,115.4	4,115.4	100.00%
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 嵐山工場	749.6	749.3	99.96%
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 朝霞工場	399.5	399.5	100.00%
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 新潟工場			
(株)トッパンNECサーキットソリューションズ 新潟工場	11,067.4	11,066.9	100.00%
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 三重工場(亀山)	1,727.0	1,726.4	99.97%
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 三重工場(津)	4,329.2	4,329.2	100.00%
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 熊本工場	4,747.2	4,746.5	99.99%
(株)トッパン・エレクトロニクス富士	227.0	223.2	98.33%
(株)トッパンNECサーキットソリューションズ 富山工場	2,947.3	2,945.7	99.94%
凸版印刷(株) 深谷工場 幸手事業所	574.8	574.8	100.00%
板橋サイト	9,138.4	9,088.4	99.45%
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 朝霞サイト(商印・出版)	8,552.2	8,546.1	99.93%
凸版情報加工(株) 朝霞サイト			
坂戸サイト	25,833.7	25,833.7	100.00%
川口サイト	40,223.4	40,223.4	100.00%
凸版情報加工(株) 板橋工場	22,437.7	22,419.9	99.92%
(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	19,010.6	19,010.6	100.00%
トッパンボックス(株) 相模原工場			
トッパンコンテナ(株) 埼玉工場	9,164.3	9,079.0	99.07%
トッパンコンテナ(株) 佐野工場	4,381.7	4,330.2	98.82%
トッパンコンテナ(株) 宮城工場	3,735.6	3,717.6	99.52%
トッパンコンテナ(株) 熊谷事業所	248.9	248.8	99.96%
トッパンプラスチック(株) 越谷工場	372.2	369.1	99.15%
トッパンプラスチック(株) 相模原工場	87.2	87.2	100.00%
トッパンプラスチック(株) 福崎工場 和歌山製造課	150.0	150.0	100.00%
(株)トッパンパッケージングサービス 嵐山工場	294.2	294.1	99.99%
(株)トッパンパッケージングサービス 袖ヶ浦ビバレッジ工場	633.4	623.3	98.41%
(株)トッパンパッケージングサービス 九州工場	176.8	176.8	100.00%
(株)トッパン建装プロダクツ 柏工場	246.5	246.5	100.00%
(株)トッパン建装プロダクツ 幸手工場	6,151.7	6,151.7	100.00%
(株)トッパンパッケージプロダクツ 伊丹工場	9,335.6	9,288.0	99.49%
(株)トッパンハリマプロダクツ	574.7	574.7	100.00%
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 滝野工場	11,892.2	11,801.9	99.24%
(株)トッパンパッケージプロダクツ 滝野工場	5,104.2	5,100.9	99.94%
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 滝野証券工場	1,127.3	1,127.1	99.98%
中部事業部 名古屋工場	5,254.9	5,252.1	99.95%
(株)トッパンパッケージプロダクツ 松阪工場	2,586.6	2,564.3	99.14%
凸版中部印刷加工(株) 三ヶ日工場	3,616.3	3,585.1	99.14%
(株)トッパンパッケージプロダクツ 福岡工場	5,348.6	5,346.8	99.97%
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 福岡工場	5,671.8	5,671.8	100.00%
トッパンプラスチック(株) 佐賀工場	214.5	213.9	99.71%
トッパンボックス(株) 西日本事業所 玉名工場	5,286.6	5,286.6	100.00%
凸版情報加工(株) 福山工場	4,248.8	4,218.9	99.30%
東日本事業部 仙台工場	4,912.5	4,814.8	98.01%
北海道事業部 札幌工場	2,522.7	2,522.3	99.98%
北海道事業部 千歳工場	5,070.9	5,043.2	99.45%
(株)トッパンプロスプリント 水戸工場	4,585.1	4,582.5	99.94%
(株)トッパンプロスプリント 江東工場	1,686.9	1,684.9	99.88%
三生印刷(株)	42.0	42.0	100.00%
(株)ふくれん内 凸版事務所	71.5	71.5	100.00%
凸版印刷(株) 生活環境事業本部 高機能事業部 深谷工場	315.5	315.5	100.00%
(株)トッパンエレクトロニクスプロダクツ 堺工場	241.9	240.7	99.51%

(注) ゼロエミッション事業所の認定については、二つの基準を設けています。新規に認定する場合は2009年度のリサイクル率が、前回から継続して認定する場合は2008年度と2009年度の平均リサイクル率が98%以上の事業所を、2010年8月にゼロエミッション事業所として認定しています。

■ 汚染予防の取り組み・化学物質の管理状況

2010年度PRTR調査集計結果

(単位: kg/年)

PRTR番号	旧番号	化学物質名	取扱量	排出量	排出先			総移動量
					①大気	②水域	③土壌	
20	16	2-アミノエタノール	59,096	0	0	0	0	24,597
30	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	2,828	0	0	0	0	1,036
44	-	インジウム及びその化合物	10,911	0	0	0	0	1,899
53	40	エチルベンゼン	26,805	5,717	5,717	0	0	239
58	45	エチレングリコールモノメチルエーテル	5,817	291	291	0	0	913
59	46	エチレンジアミン	8,210	0	0	0	0	8,098
71	-	塩化第二鉄	2,688,598	7	0	7	0	2,357,026
76	61	ε-カプロラクタム	3,972	0	0	0	0	498
80	63	キシレン	65,077	6,466	6,466	0	0	297
82	64	銀及びその水溶性化合物	1,030	0	0	0	0	0
87	68	クロム及び3価クロム化合物	28,194	6	0	6	0	7,836
88	69	6価クロム化合物	18,515	0	0	0	0	892
144	108	無機シアン化合物	2,067	0	0	0	0	106
151	-	1,3-ジオキソラン	16,558	539	539	0	0	7,622
243	179	ダイオキシン類(mg-TEQ)	818	76	76	0	0	742
272	207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	1,293,976	421	0	420	0	257,292
275	-	ドデシル硫酸ナトリウム	1,051	0	0	0	0	0
291	218	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6-(1H,3H,5H)-トリオン	2,152	0	0	0	0	387
296	-	1,2,4-トリメチルベンゼン	54,916	2,643	2,643	0	0	1,142
297	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	6,528	1,057	1,057	0	0	5,471
300	227	トルエン	3,810,999	380,699	380,699	0	0	411,998
308	231	ニッケル	56,302	0	0	0	0	1,584
309	232	ニッケル化合物	25,637	82	0	82	0	21,730
395	-	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	285,321	0	0	0	0	0
405	304	ほう素及びその化合物	1,702	24	0	24	0	2
411	310	ホルムアルデヒド	45,393	32	32	0	0	106
412	311	マンガン及びその化合物	7,848	15	0	15	0	3,420
420	320	メタクリル酸メチル	6,542	417	417	0	0	1,028
438	-	メチルナフタレン	87,426	408	408	0	0	0
448	II-78	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	57,498	0	0	0	0	3,934
		新対象合計	8,680,970	398,823	398,270	554	0	3,119,151
		旧対象合計	5,478,691	395,226	394,680	547	0	747,528

(注) 算定期間: 2010年4月1日~2011年3月31日

届出対象物質は上記30物質。化管法改正前後のPRTR番号を記載しています。

集計対象事業所: 第一種指定化学物質の年間取扱量が1.0t/年以上の事業所(特定第一種指定化学物質については0.5t/年以上)。

総移動量は廃棄移動量と下水道移動量の合算値。

温室効果ガス種類別比率(CO₂換算での比率) (単位 比率:% 合計:t-CO₂)

年度	CO ₂	CH ₄	N ₂ O	合計
2007	99.93	-	0.07	805,109
2008	99.93	-	0.07	751,901
2009	99.92	-	0.08	715,729
2010	99.93	-	0.07	722,724

温室効果ガス排出源別比率(CO₂換算での比率) (単位 比率:% 合計:t-CO₂)

年度	電気の使用	燃料の使用	廃棄物の焼却	合計
2007	65	32	4	805,109
2008	66	31	4	751,901
2009	66	30	4	715,729
2010	67	29	4	722,724

(注) 環境省の「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(平成15年)」を元に算出。

■ 生物多様性保全の取り組み

「ECO-GREEN」購入量の推移

年度	2007	2008	2009	2010
ケース	2,675	2,753	2,634	2,703

(注) ECO-GREENは、カートカン古紙を約50%配合したトイレットペーパーです。

エコクリエイティブ活動

環境配慮型製品一覧

事業分野	製品名	環境主張
証券・カード	エコスルーカード	廃棄適性
	紙素材ICカード	リサイクル素材
	粗大ゴミ処理シール	省資源(材料投入量削減)
	ETCカード	廃棄適性
	リライタブルペーパー	長寿命
	超極薄紙DM	省資源
	グリーン通帳	リサイクル適性
	紙カード(KAMICARD)	生分解性/リサイクル適性
	RFID紙カード(KAMI-RFID CARD)	易分離・易解体/リサイクル適性
	エコパック等身大	省資源(材料投入量削減)
商業印刷	卓上紙製カレンダー	リサイクル素材
	エコロジーカレンダー	リサイクル素材
	エコPOP	リサイクル素材/廃棄適性/省エネルギー
	セラップ	廃棄適性
	エコパックスタンド	省資源
	エコパックマルチパネル	リユース
	エコフロアーステッカー	廃棄適性
	エコパックエンドパネル	省資源
	エコパックスタンドラウンドタイプ	省資源
	EPOP	安全素材
	エコパックマルチパネル ミニ	リユース
	マルチキューブPOP	リユース
	出版印刷	再生植物油インキ
PURホットメルト		易分離・易解体
非塩ビステレオ		廃棄適性
ディスクととくくんシリーズ		リサイクル適性
エレクトロニクス	ハロゲンフリープリント配線板	廃棄適性
	反射防止膜	安全素材
	カラーフィルター(樹脂BM)	安全素材
	パラジウムめっきリードフレーム	安全素材
	鉛フリーはんだコート・プリント配線板	安全素材
	GLファミリー(GL-スタンディングパウチ、GL-ボトルドパウチを含む)	廃棄適性
パッケージ	詰め替えスタンディングパウチ(GL-スタンディングパウチは除く)	省資源(材料投入量の削減)
	ボトルドパウチ(GL-ボトルドパウチは除く)	省資源(材料投入量の削減)
	再生材利用プラスチック容器	リサイクル素材
	エコグロス	省資源(枯渇性資源削減)/リサイクル素材
	ディスクアート	省資源(枯渇性資源削減)
	TT紙缶	易分離・易解体
	ネオベール	リサイクル素材
	エコテナー	省資源(枯渇性資源削減)
	TL-PAK	省資源(枯渇性資源削減)
	EP-PAK・GL	省資源(物流エネルギー削減)
	EP-PAK・アルミ	省資源(物流エネルギー削減)
	スタンディングチューブ	省資源(材料投入量削減)
	離サイクルンキャップ	易分離・易解体
	APカートン	省資源(物流エネルギー削減)
	マイクロフルート	省資源(物流エネルギー削減)
	TPトレイ	リサイクル適性
	段ボール緩衝材	リサイクル適性
	ADケース	省資源(材料投入量削減)
	カートカン	リサイクル適性

事業分野	製品名	環境主張
パッケージ	再生紙カップ	リサイクル素材
	非木材紙カップ	省資源(生産資源使用)
	生分解包材	生分解性
	つつの助	省資源(物流エネルギー削減)
	マモルム	廃棄適性
	GL-C	省資源
	GXフィルム	省資源
	ジャープラス	省資源
	トレイオール	易分離・易解体
	GL紙カップ	省資源
	断熱バリア紙カップ	省資源
	通気性薄紙耐油紙	安全素材
	インライン機能コート紙	リサイクル適性
	インモールドバリアカップ	省資源
	改ざん防止リサイクルンキャップ	易分離・易解体
	PETボトル用易剥離感熱ラベル	易分離・易解体
	エコバンド	省資源
	水性コールドシール	化学物質放出削減
	生分解プラ育苗ポット	生分解性
	バリアカップ(NSP加工)	省資源
	プラスチッククリップ	リサイクル適性
	ノッチレス易カット包材(ALタイプ)	省資源(製造工程における省エネルギー)
	再生PETクリアケース	リサイクル適性
	アルグラス	廃棄適性
	ガラス瓶用易剥離感熱ラベル	易分離・易解体
	耐熱型食品一次紙容器	省資源
	改ざん防止機能口栓付き紙パック	省資源
	TLパック用1ピース閉塞防止口栓	省資源
	紙製密封トレイ	省資源
	紙製軟包装材	省資源
	透明遮光包材	廃棄適正
	バイオポリマー射出成形品	省資源
	ELケース	易分離・易解体
	非フッ素系厚紙用耐油紙	安全素材
	間伐材入り紙カップ	省資源
	GL仕様太陽電池バックシート	廃棄適性/長寿命
	紙製複合容器	省資源/リサイクル適性
	パウチ型芳香剤容器	省資源/リサイクル適性
	省資源型カートカン(角型タイプ)	省資源/リサイクル適性
	低溶出接着剤を使用した包装材	化学物質放出削減/安全素材
ガラス瓶用易剥離感熱ラベル(フィルムタイプ)	易分離・易解体/省資源	
紙複合素材筒型容器	省資源	
高耐久性包材	省資源	
二つ折りパウチ(詰替用)	易分離・易解体	
バイオマスプラスチック製シュリンクラベル	省資源	
塗装代替加飾部材	化学物質放出削減	
アルミレスラーメン蓋材	廃棄適性	
ポリオレフィン系GL-C	省資源	
太陽電池バックシート	省エネルギー	
異型エンボスレーザーカットパウチ	易分離・易解体	
断熱発泡紙カップ原紙	生産エネルギーの削減	
防湿性スタンディングパウチ	省資源/廃棄適性	

環境会計

環境保全設備投資額

(百万円)

項目	主な内容	2010年度	増減 (当期-前期)	直近 5年間 累計
1	公害防止設備投資額	1,387	76	7,800
2	地球環境保全設備投資額	259	△1,265	2,462
3	資源循環設備投資額	637	311	5,617
4	管理活動設備投資額	204	186	311
合計		2,487	△692	16,190

(注) 2005年度実績からは環境保全設備投資と環境保全効果にのみ焦点をあて、「みなし」の算出を極力排除し、投資対効果の判断と検証の精度向上を図っています。

環境保全効果

項目	主な内容	増減量*1	2010年度
エネルギー	総エネルギー消費量(kGJ)	1,500	26,499
水	水利用量(km ³)	2,919	20,079
大気	二酸化炭素排出量(kt-CO ₂)	111	1,286
	オゾン層破壊物質排出量(ODP-t)	0	0
	NOx排出量(t)	△8	182
	SOx排出量(t)	2	34
	ダイオキシン類排出量(mg-TEQ)	△15	80
水域・土壌	総排水量(km ³)	2,780	17,801
	場内揮発量(km ³)	26	1,915
	BOD負荷量(t)	6	57
	COD負荷量(t)	2	21
廃棄物	総排出量(kt)	29	441

*1 2009年度からの増減量を示す。

グリーン調達・グリーン購入

グリーン調達基準(用紙)

	<水準-1>	<水準-2>	実績	
			2009年度	2010年度
①再生循環資源を利用した紙を使用している	古紙/パルプ配合率100%、または古紙/パルプ配合率70%以上+残りが森林認証パルプ	古紙/パルプ配合率70%以上または森林認証紙、非木材紙、間伐材紙	12.1%	12.8%
②白色度を考慮している	非塗工紙は白色度70%程度(±4%)	非塗工紙は白色度80%程度(±4%)		
③塗工量を考慮している	塗工量12g/m ² 以下(片面では最大8g/m ² 以下)	塗工量30g/m ² 以下(片面では最大17g/m ² 以下)		
④塩素ガスを使用しないパルプを使用している	漂白工程で塩素ガス(Cl ₂)不使用のECF漂白/パルプ100%			
⑤有害物質を含有していない	着色剤には別表のアミンが生成される可能性のあるアゾ着色剤は使用しないこと	別表のアミンが製品1kg当たり30mgを超えて検出されないこと		
⑥古紙再生阻害要因の改善に配慮している	「古紙リサイクル適性ランクリスト」のB、C、Dランクの資材を使用しないこと	「古紙リサイクル適性ランクリスト」のC、Dランクの資材を使用しないこと		
⑦再生紙の製造に積極的に取り組んでいる企業から調達する	古紙を再生紙原料として積極的に受け入れている企業から調達すること			

(注) 日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準(平成18年改訂)における実績

グリーン調達基準(インキ)

	<水準-1>	<水準-2>	実績	
			2009年度	2010年度
①人体に危害を及ぼす物質を使用していない	印刷インキ工業連合会のNL規制に適合すること		96.8%	99.2%
②有害物質発生の原因となる物質を使用していない	塩素系樹脂を使用していないこと			
③PRTR指定化学物質を考慮している	PRTR指定物質を使用していないこと	PRTR指定物質を特定していること(MSDSを備えている)		
④VOC発生を抑制している	VOC含有量1%未満(ノンVOCインキ)。但し輪転インキは除く	VOC含有量15%未満(低VOCインキ)または大豆油インキ		
⑤古紙再生阻害要因の改善に配慮している	「古紙リサイクル適性ランクリスト」のB、C、Dランクの資材を使用しないこと	「古紙リサイクル適性ランクリスト」のC、Dランクの資材を使用しないこと		

(注) 日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準(平成18年改訂)における実績

グリーン購入社内基準と達成率

対象商品	購入基準	2010年度実績
コピー機・プリンタ	自動的に低電力モードやオフモードに移行する機能が充実していること	100%
パソコン	自動的に低電力モードやオフモードに移行する機能が充実しており、低電力モードでの消費電力が小さいこと	100%
文具・事務用品	環境対応商品カタログ掲載品であること	86.7%